

お楽しみ

議会だより

7月

2019 vol.156

補正予算	3
予算特別委員会	4～5
一般質問	6～9
各常任委員会	9～11

議会ホームページ検索

南陽市議会

検索



6月定例会

森林環境譲与税基金条例の設定 新保育施設整備費を補正

6月3日～21日まで開催。(19日間)

報告5件

- ① 30年度一般会計予算繰越明許費繰越額の報告
- ② 30年度水道事業会計予算繰越額の報告
- ③ 30年度下水道事業会計予算繰越額の報告
- ④ 土地開発公社経営状況の説明
- ⑤ 株ハイジアパーク南陽経営状況の説明

同意6件

- ① 固定資産評価審査委員会委員の選任
(佐藤憲一氏再任)
 - ② 宮内財産区管理委員4名の選任
 - ③ 金山財産区管理委員7名の選任
 - ④ 池黒財産区管理委員7名の選任
 - ⑤ 赤湯財産区管理委員3名の選任
 - ⑥ 沖郷財産区管理委員7名の選任
- いずれも任期満了に伴うもの。
- 条例その他4件
(13頁参照)
- ① 森林環境譲与税基金条例の設定
 - ② 介護保険条例の一部改正
 - ③ 市道路線の廃止と認定の2件

一般会計補正予算1件

沖郷地区新保育施設整備の国庫交付金の増額5755万円などを含む8123万円の追加で、総額を148億9千万円とした。

介護保険特別会計補正予算1件

条例改正に伴うシステム改修委託料の補正で、124万円を追加し、総額を38億3千万円とした。

以上、17件すべて原案のとおり承認、同意、可決した。

また、一般質問は7人の議員が2日間にわたり当局の考えを質した。

追加議案1件

赤湯中学校のグラウンド、テニスコート整備工事に伴う「赤湯中学校屋外運動場施設整備工事請負契約の締結」が、最終日に上程され、全員異議なく可決した。

(6～9頁参照)

第1回臨時会

4月19日開催

条例3件

- ① 住民税・軽自動車税の改正による市税条例の一部改正
- ② 所有者不明土地の特例措置に伴う都市計画条例の一部改正
- ③ 課税限度額の引き上げ・軽減判定基準の見直しに伴う国民健康保険税条例の一部改正

一般会計補正予算1件

今年10月の消費税増税に配慮した政府のプレミアム付商品券制度に対応する事業費1億4150万円の追加で、総額を148億1千万円とした。

以上の4件を、全て承認可決した。



第2回臨時会

5月21日開催

発議案1件

議会機能等検討特別委員会の設置について付議され、承認可決した。

設置理由…2月5日に議会主催で「定数と報酬を考える」議員研修会を開催し、またその後、地区長連絡協議会より2月13日に提出された要望書を受けて、議会機能等に関し、調査研究を行い適切な対応を図るため、地方自治法第112条により特別委員会を設置することとした。

名 称…議会機能等検討特別委員会

定 数…6名

調査期限…9月30日

委員長…伊藤 俊美 副委員長…板垣致江子
委員…島津善衛門、片平 志朗、梅川 信治、佐藤 明

体育館施設一般事務費

86万円

◎市民体育館バリアフリー冷水機設置工事等

市民体育館内の冷水機について、車椅子利用者や低学年の児童が利用するには飲み口の位置が高く不便なため、バリアフリーの観点から、飲み口が低く皆が使いやすい冷水機を新たに設置するもの。



冷水機の設置例

園芸大国やまがた 産地育成支援事業補助金

916万円

競争力の高い産地を育成するため、県の補助事業を活用し、農業者団体等の事業実施主体が園芸農業の振興に必要な栽培施設や労働環境設備等を導入する際に、その費用の一部を補助するもの。

コミュニティ助成事業補助金

▲640万円

今年度申請5団体の内、2団体が助成決定となり、非該当団体の補助金額を減額するもの。

その他の主な事業

- ☆議会運営一般事務費（特別委員会） 64万円
- ☆光ファイバーケーブルルート変更工事 200万円
- ☆参議院議員通常選挙費（報酬/人件費/事務費） 85万円
- ☆施設修繕料（健康長寿センターろ過ポンプ） 31万円
- ☆社会福祉協議会補助金 180万円
- ☆介護保険特別会計繰出金（事務費/低所得者保険料軽減分） 62万円



新保育施設整備事業費補助金

6,834万円

沖郷地区に、民間保育事業者が保育施設と子育て支援センターを建設・整備する事業の補助金について、国の補助基準額が増額となることに伴い、追加するもの。



建設予定地（若狭郷屋内）

ハザードマップ作成業務委託料（ため池）

75万円

新たな選定基準によって「防災重点ため池」に選定された一部について、地域住民の防災減災意識の向上を図るため、緊急時の避難経路や避難場所を示した「ため池ハザードマップ」の作成をするもの。

ハザードマップ作成業務委託料 （織機川/吉野川）

108万円

県より、織機川、吉野川の想定し得る最大規模の降雨を前提に、浸水する恐れのある区域（浸水想定区域）が公表されることに伴い、現在の「洪水ハザードマップ（浸水想定区域図）」を更新するもの。

補正予算 Q&A

片平 志朗 議員

ため池の

ハザードマップ整備

◎作成にあたり現状把握はされたか。

〈農村森林整備主幹〉
25・26年の豪雨災害後の一斉点検内容を参照した。改めて現状把握は必要ないと考える。
◎30年に中国・四国地方で発生した豪雨災害では、ため池が決壊して被害が拡大した。



川樋 唐沢ため池

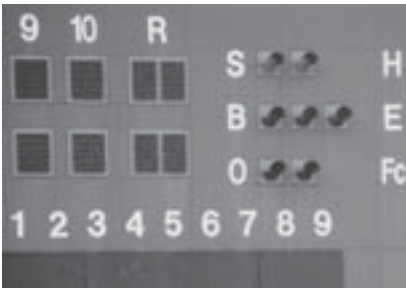
水圧に耐えきれず決壊したことを考えれば、ため池の土質や構造を含め綿密な調査が必要であることを指摘する。

山口 正雄 議員

向山球場のスコアボード

◎ストライク・ボール・アウトの表示が国際慣習に合っていない。置賜地区の他球場は全て変更済みだ。なぜ変更できないのか。

〈社会教育課長〉現在変更の予定はないが、実際にプレーの中で不便もあると考えている。電光掲示板改修に併せ、



向山球場スコアボード

施設長寿命化計画の中で改修を行う。

◎早急に国際慣習に合わせるべきだ。

大野平キャンプ場

◎休止の理由は。

〈社会教育課長〉管理をお願いしていた地権者が亡くなり、再開できない状況だ。

◎どうすれば再開できるのか。

〈社会教育課長〉今まで通り近隣に管理者が居住する条件なら、管理上問題ないため再開できる。

◎近隣に居住することは困難だ。一番の問題は火の始末だが、柔軟に考えられないか。

〈社会教育課長〉現地は携帯電話の電波も届きにくい環境で安全を確保できない。関係者と協議したい。

◎最近、「週末限定だけでも」と再開の要望が

あった。早期の再開を求める。



大野平キャンプ場

佐藤 明 議員

保護者負担の軽減を

◎隔年で文部科学省が子どもの学習費を調査しているが、本市は調査されたのか。

〈管理課長〉自治体負担の費用調査は毎年実施している。

◎修学旅行積立など、いわゆる学校外費用の個人負担分だ。中学校

で約30万円、小学校で約22万円の学校外教育費が全国平均でかかっており、特に中学校の保護者には大きな経済的負担だ。調査すべき

と考える。

と考える。

〈教育長〉学習関係費用は調査可能だが、学校外の部分は調査に配慮が必要だ。今後、保護者負担の軽減のため知恵を出す必要がある。デジタル教材など、必要なものには公的な補助金も活用していく。

◎子どもの貧困率は現在14%前後で増加傾向だ。今後、学習費用の無償化も含め、貧富の格差で教育の質に差が生じない対応が大切だ。

〈教育長〉学校の授業で学力をつけることが大切だ。公的活動で補完し、格差が生じないようにする。

◎教育に格差があってはならない。子どもたちが安心して学校生活を送るため、市長はどう考えるか。

〈市長〉教育を受ける子どもたちに格差があつ

てはならないが、現実には格差が広がっていることが問題だ。所得の低い家庭でも、意欲ある子どもには手を差し伸べたい。

◎格差のない教育を求める。

白鳥 雅巳 議員

小中学校

夏の屋外活動

◎昨年の夏は記録的高温のため、全国で屋外活動での熱中症が発生した。対策はあるのか。

〈学校教育課長〉昨年はプールも水温が高く問題があった。現在は、WBGT^{*}の指標に基づいて活動を考えている。

◎昨年は30℃を超える中でランニングを行い熱中症になるなど信じられないニュースもあったが、正しい対応を行えばそのような事故も発生しない。ミス

故も発生しない。ミス

※ WBGT…暑さ指数。人体と外気の熱のやりとりに影響の大きい湿度、放射熱、気温の3つを取り入れた指標。

トシャワー設備を導入している自治体もある。検討できないか。

〈市長〉具体的に考えていないが、使用の実績は聞き及んでいる。検討したい。

◎ミストシャワーは、簡易な設備で設置できる。検討を求める。



ミストシャワーの例

島津善衛門 議員

交通安全の危険箇所

◎国際道路交通事故データベースでは、日本の交通事故死亡率は低いですが、歩行者が巻き込まれる形の死亡事故は37.3%と異常に高い。交通危険箇所点検以外に

応じることができるか。〈市長〉幹線道路での事故が比較的多く、国や県の事業範囲のものが殆どだ。市ではソフト対策に力を入れていきたい。

◎JAFの県内調査では、信号機のない交差点で自動車が停車する割合が7.6%と非常に低い。歩行者に厳しい現実を認め、これ以上の犠牲を出さない対策を取るべきと指摘する。

山口 裕昭 議員

旧小滝小学校利用

◎先日、小滝小学校で閉校式が行われたが、その後の利用方法は決まっているのか。

〈管理課長〉地域の方と利用方法について協議したが、結果的には教育資料収蔵庫としての活用を考えている。

◎旧中川中学校も倉庫

利用だ。そんなに倉庫が必要なのか。比較的新しい施設で勿体ない。シャワー設備を導入した上で市内外の学校に合宿所として開放し、災害時には避難場所として利用してはどうか。

〈管理課長〉収蔵庫利用は、収納物などがまとまった段階で検討していく。改修しての利用は、大きな施設ではないため考えていない。災害時の避難場所指定は、今後も継続する。

◎以前の豪雨災害時、鍵が開かず避難の支障になったと聞いている。



旧小滝小学校

〈管理課長〉現在は地区の管理者に合い鍵を渡しており、今後そのような問題はない。

◎体育館もあり倉庫使用はやはり勿体ない。今後、新しい使用方法を考えるなど柔軟な対応を求める。



田中 貞一 議員

ハイジアパーク南陽の今後のあり方にかかる「有識者会議」

◎委員に取締役が含まれているのはなぜか。

〈財政課長〉弁護士の助言を得て、市民各層のそれぞれの分野で見識のある委員を迎えた。

◎今年度は単年黒字だが、財政負担は大きい。このような中、取締役

が含まれる委員構成で健全な議論ができるのか。

〈副市長〉庁内でも委員の中に取締役が入ることには慎重論があつたが、市民全体の意見を集約するため内部の実情を知る人材も必要との判断となつた。法的にも問題はない。

赤湯中学校屋外運動場工事請負契約の締結

◎市内業者に広く仕事を配分する観点から、分割発注すべきでは。

〈管理課長〉どちらも土木工事のため、分割する必要はないとの判断。

◎グラウンドとテニスコートの工事は各々いくらか。

〈管理課長〉グラウンド改修に1億3600万円、テニスコート新設は8100万円だ。

関連

高橋 篤 議員

◎赤湯中グラウンドは25・26年の豪雨で被害を受けた。どの程度かさ上げする予定か。

〈管理課長〉地盤の高さは排水の部分で決まる。今回は現地盤より10〜30cm程度高くなる予定。

◎補助金はあるか。

関連

佐藤 明 議員

◎工期は6月から3か月間だが、その間の生徒の活動は。

〈管理課長〉赤湯小・旧中川中のグラウンドと漆山小テニスコートに分かれて行い、送迎は個別にバスを用意する。◎子どもたちに不便が無いように特に配慮を要望する。

一般質問と答弁要旨

厳しくなった「ふるさと納税」の現状は 整備された道路交通網の効果は

中山 利美 議員



◎総務省は「ふるさと納税」の過度な競争を問題視し、地方税法改正等で規制強化が図られた。本市は基準に問題はないか。

〈商工観光課長〉宿泊券等も赤湯温泉限定の条件や本人確認の様々な記載など地場産品に準じており問題はない。

◎ポータルサイトのさくらんぼは「受付終了」「品切れ中」が相当多くなっている。なぜか。

〈商工観光課長〉昨年11月から先行予約しているが全体量としては不足していない。各農家の分は、受付期日を5月20日としているため受付終了が多い。

◎コメ等、多くの量が要らない方のために、少額寄附での少量設定は検討しているのか。

〈商工観光課長〉全ての経費を合わせて寄附額

の5割以下との規制があり、少量設定は送料の割合が高くなるため慎重に検討していく。

◎クラウドファンディング型ふるさと納税の取組みの検討は。

〈商工観光課長〉来年度から実施する事業について、今年度から受付できるよう進めていく。

◎東北中央自動車道開通で今年のゴールデンウィーク期間中の観光客は県全体で前年比32%増。本市は。

〈みらい戦略課長〉期中赤湯温泉の客室稼働率は昨年比10%超の増、飲食店も盛況とのこと

で効果があった。
◎駅名等「南陽」名称の統一を図っては。

〈みらい戦略課長〉赤湯駅の名称変更などはシステム等に自治体でも莫大な負担。慎重に見極める必要がある。

SDGsへの本市の取組状況は 子どもの屋内遊戯場整備を求める

山口 裕昭 議員



※ SDGsへの取組

◎国連加盟国が2030年末の達成を目指す「持続可能な開発目標(SDGs)」について、

全国の自治体や民間企業等での理念を施策等に取り入れる動きが見られ、国も自治体での達成を推進する考えだが本市の取り組みは。

〈市長〉SDGsは持続可能な世界を実現するための普遍的な理念で、本市の行政施策や事業にも通じた理念だ。

市では現在推進中の第5次総合計画の総括と第6次総合計画策定に向けた準備を進めている段階のため、現時点で積極的な取り組みを行ってはいない。

今後はSDGsの理念を念頭に持続可能な社会の構築に向けて施策立案を行う考えだ。

◎SDGsは国が強制

するものではないが、グローバル社会で世界と共有できる価値観だ。

本市はまだ準備段階で、項目分け作業中の状況と思われるので、今後の進展を見守りたい。

子どもの屋内遊戯場

◎昨年、市長は子育て政策の中で屋内遊戯場整備は優先順位が低い。近隣自治体の施設を相互利用すべきと答弁されたが、子育て世代からは屋内遊戯場を望む声が依然高い。優先順位の高い保育料無償化が国の施策となったが、今後再考の考えは。

〈市長〉今回、国で予定する保育料無償化では、対象外施設があり、また給食費は対象外だ。

市では保護者の経済的負担軽減を優先課題と考えており、屋内遊戯場の相対的な優先度は低いと考えている。

は低いと考えている。

※ SDGs (持続可能な開発目標) ... 2005年に国連総会で採択された「我々の世界を変革する持続可能な開発のための2030アジェンダ」で示された具体的行動指針。5つの優先課題と17の目標(ターゲット)から成る2030年末を期限とした開発目標。政府主導の「地方創生SDGs官民連携プラットフォーム」には259の自治体が加盟し、官民の情報共有化や連携強化が図られている。



島津善衛門 議員

消防団の処遇改善と充実強化

◎消防団の充実強化

①夏活動服の支給を

〈市長〉県内で配備している消防団はなく、当市においても現時点で配備の計画はない。消防団の装備基準を勘案しながら、消防団員の活動実態に即し、必要性の高いものから、計画的に整備する。

②損害見舞金の差額を

市で負担すべき

〈市長〉水防法に基づく「南陽市水防計画」の規定に沿って損失を補償する。勤務先の車両も見舞金の範囲とすべきという意見については、この事業を実施している「消防団員等公務災害補償等共済基金」において、「消防団員等に係る自動車等損害見舞金の支給に関する規定」の範囲内で実施している。ご理解をいただきたい。

③「やまがた消防団員カード」の活用

〈市長〉店舗や事業所などに「やまがた消防団応援事業所」として登録をいただき、消防団員が「消防団員カード」を提示すると、特典やサービスを受けられる。現在、本市においては4店舗の登録となっており、市としても、登録事業所の拡大を支援する。

◎吉野川上流(狄地区)

への雨量計の設置を

〈市長〉県河川砂防情報システムで小滝地内雨量計データの提供が開始された。金山・赤湯地内の各雨量計と合わせ流域全体が概ねカバーされた。水位観測も、3箇所で河川の水位が観測でき、充実が図られている。



山口 正雄 議員

ヘルプマーク等の広報に取り組む スマートインターチェンジ実現まで17~18年!

◎介護、耳、ヘルプマークなどを付けても、周りの理解がなければ、意味がない。マークの理解が進むよう広報すべきでは。

〈福祉課長〉地道な活動と併せて、市民の皆さんに広く知ってもらえる取り組みを強化していく。

◎スマートICは、南陽パーキングエリア(PA)接続が。

〈市長〉PA接続で検討。アクセス道の整備費用、JR踏切横断、軟弱地盤など、難しい課題があるが、強い決意で取り組んでいく。

◎完成までの期間は。

〈市長〉他市の場合、準備段階調査採択まで10年、更に完成まで7~8年を予定している。

◎産業団地の適地は。

〈市長〉必ず探すように取り組む。

◎実現に向けて産業団地以外の構想は。

〈建設課長〉ワインツリーズム、スカイスポーツによる交流人口の拡大と13号の代替路線も検討中。

◎上野新田線の検討は。

〈建設課長〉通年通行に向けて、蒲生田関口線の開通に合わせ、除雪強化、側溝、法面拡幅の局部改良を検討する。

◎スマートIC実現まで長期間を要する。中川とは別に産業団地をつくる考えは。

〈副市長〉農振除外しなければ、大規模な産業団地は無理。第6次総合計画の中で、どういうゾーニングができるか、土地利用の見直しを検討したい。

◎企業立地の優遇制度の見直しは。

〈商工観光課長〉他自治体も変わってきている。研究していきたい。



板垣致江子 議員

赤湯表町お神坂下トイレの改修を！ 地域おこし協力隊の積極活用を！

観光地としてふさわしい快適なトイレか

◎観光地はトイレがきれいかどうかで印象が大きく変わると言われ、

最近特に観光地や高速道路などはトイレ機能だけでなく、リラックasできるおもてなしの心が感じられる空間づくりに変わってきている。本市の公衆トイレの現状はどうか。洋式化や、車椅子対応は。

〈市長〉市が管理する公衆トイレは28箇所。洋式化は15箇所、車椅子対応は14箇所。

◎お神坂下のトイレは男女共用で洋式化も車椅子対応にもなっていない。匂いもひどい。

高速道路の開通で観光客も増えている。赤湯温泉のメイン通りであり、以前から改修の要望がある。早急の改修を。

〈市長〉当該トイレは昭和47年建築と古いが、大きな劣化も無く、当面は必要な修繕で機能維持を図る。

地域おこし協力隊

◎この制度は、人口減少などがいちじるしい地域で、地域外の人材を積極的に募集し、定住・定着を図り、地域力の維持・強化にも資する有効な方策として、総務省が一人あたり400万円の財政措置を講ずるもの。近隣市町でも多くの人が活躍し定住や起業している。本市でも地域の活性化のため、色々な分野で活躍してくれる協力隊をもっと複数で募集すべきでは。

〈市長〉有用性は認識している。各分野のニーズ、予算を見て積極的な採用を検討する。



佐藤 明 議員

深刻さを増す日本経済と 南陽市の状況、実態、支援策は！

◎5月20日発表された1～3月の国内総生産速報値は、輸入の大幅な減少により計算上はプラス0.5%となり、GDPの約6割を占める

個人消費がマイナス0.3%、輸出がマイナス2.4%とそろって日本経済が縮小していることをあらわにした。一方、

13日に内閣府が発表した3月景気動向指数は前月から0.9ポイント下がり、景気の基調判断

は13年1月以来、6年2ヶ月ぶりに悪化となった。国内で「リーマンショックに近いこととなる」などと危機

感を表明する経営者が相次いでいる。日本経済と世界経済の現状を

見れば、今やるべきことは、国民のふところを温め内需を拡大して日本経済の足腰を強くする真の経済対策だ。

それに真っ向から逆行する消費税は、きつぱりと中止すべきではないか。白岩市長の認識とご見解は。

〈市長〉増え続ける社会保障財源の確保のため実施されるものであり、やむを得ないものと捉えている。

◎市内の中小零細企業、商工業、労働者等の状況と実態は。

〈市長〉市の企業動向調査によると、全体で売上高マイナス14.3ポイントと29年7月調査以来の

マイナスである。収益についてもマイナス14.3ポイントとなっており、厳しい経営環境がうかがえる。

◎見通しと支援策は。

〈市長〉商工会、金融機関、国、県の多岐に渡る支援策を紹介しながら、課題解決に取り組んでいく。



白鳥 雅巳 議員

運転免許証返納後のサポートは！ ワインを活かした観光戦略は！

◎交通空白地域の解消、高齢者の運転免許証返納後のサポートは。

〈市長〉地域の事情を踏まえ、地域が主体となった取組みを支援し、関係機関連携を図る。

また、運転に不安を抱いている高齢者等から返納申請があつた場合には、交通事故発生の未然防止対策として自主返納支援事業を継続していく。

◎児童を巻き込む事故防止のため、交差点や歩道の危険箇所点検を。

〈市長〉南陽市交通安全対策協議会事業で、毎年、市交通安全協会各支部長、全地区長を対象に、交通事故危険箇所調査を実施。また、園児の保育所外での活動の際、移動経路の安全性の再確認等は、各所管課から各施設長に対し、速やかに点検を

行うよう周知・指導を実施し、一部見直しをした。

◎教育現場の夏休み期間中の事故防止対応は。

〈教育長〉学校や教師の目が届きにくい期間であり、各小中学校では、夏休み前に全校・学年集会、学級の時間の中で、繰り返し児童生徒に交通事故にあわないよう意識を高める指導をしており、危険予測・危機回避能力など、状況の想定や具体的な行動ができる指導を行っている。保護者・地域関係機関との連携強化を図る。

◎観光果樹園も始まり誘客への後押しやPRの取り組みは。

〈市長〉市観光果樹振興会と北関東エージェンツ訪問を実施。今後も営業・誘客活動に取り組む。

総務 常任委員会

源泉を守るケーシング工事 際立つ気持ち良さ～南陽病院

管内視察報告

5月21日

◆森の山1号、2号源泉

森の山源泉1号は約390m、2号は約406mの深さから湯をくみ上げている。現在1号で下から約79m、2号で214mの部分で崩落と埋没がある。今後、これを防止するため、ケーシング挿入工事を行うとのこと。

◆旧市民会館跡地

旧市民会館は30年度末に解体。今年4月から駐車場として開放中。ただし、北側の駐車区画線の無い部分は、軟弱地盤のため、バリケードを設置し、使用を制限している。

◆ハイジアパーク南陽

議会での、指定管理

料増額決議とともに、ハイジアパーク南陽の今後のあり方にかかる「有識者会議」が設置される運びとなり、議会でも最重要課題の一つと位置付け、老朽化が懸念される館内ボイラー、給湯設備等を視察した。安全第一に計画的な更新が望まれる。

◆公立置賜南陽病院

病院に入った途端、木のぬくもり、香り、そして明るさが際立つ院内に感嘆した。全館を視察し、外来患者や入院される方々、先生や看護師さんなど多くの方々が気持ちよく働けるスペースになると確信した。

患者さんも、気持ちの良い病院で、病状が良くなることを願いたいと思います。

（委員長 山口 正雄）

低所得者の介護保険料軽減を強化する条例の改正

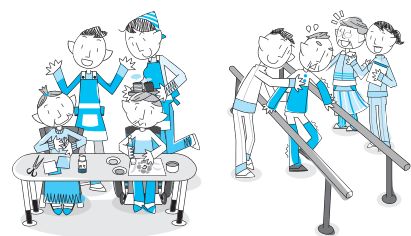
審査報告

付託議案は1件

◆介護保険条例の一部を改正する条例の制定

介護保険法の改正に伴い、低所得者（一号被保険者）の保険料を軽減するため、条例の一部を改正するもの。これまでの公費負担による低所得者の保険料軽減対策を、10月の消費税率引き上げにともない、さらに強化する。第一段階の対象者は年額3万4560円↓2万8800円。第二段階対象者は5万3760円↓4万6080円。第三段階対象者は5万7600円↓5万5680円に軽減。軽減開始年度は本年4月。来年度からはさらに軽減される。

委員より、保険料収入との差額の対応につ



いて質問がなされ、これまで同様、国 $\frac{1}{2}$ 、県 $\frac{1}{4}$ 、市 $\frac{1}{4}$ で負担。保険料軽減総額は1900万円で、市の負担額は $\frac{1}{4}$ の約480万円になるとの説明を受けた。また、消費税引き上げが延期された場合の対応については、施行令等がすでに改正されていることから、何らかの国の手立てが通知されると思うが、現時点で明確なことは言えないとの説明を受けた。

審査の結果、全員異議なく原案のとおり可決した。

管内視察報告

5月20日

◆地域住民の施設をめざす高齢者福祉施設

特別養護老人ホーム「こぶし荘」増床棟

中川地区の「こぶし荘」では、待機者の解消に向け、増床棟を建設、5月1日に新棟を開所した。増築延べ床面積1502㎡、木造平屋建て、準耐火構造。入所30名、ショートステイ8名の増員に対応する。

施設長から今までの経緯や計画に係るコンセプトなどスライドで説明を受けた。特に特別養護老人ホームは個室ユニットケアが主流になる中、あえて多床室（4人室）にし、居室の前に広い前室を設け、プライバシーの確保に配慮した間取りに

◆心がよう安心と信頼の身近な市民病院をめざす「公立置賜南陽病院」



こぶし荘増床棟

したこと、また、東日本大震災で停電になった時の教訓を生かし、空調関係のエネルギーをガスにしたことなど工夫されていた。地域の皆様に愛される施設となるように努力していくとの決意が述べられた。



新南陽病院総合受付

の北側に工事が進められ、今年4月に完成した。建物は鉄筋コンクリート一部鉄骨造2階建て、延べ床面積3677㎡。病床は50床となっている。1階には外来診察室、医事室、総合受付、検査室。2階には病床、スタッフルーム等が配置されており、効率的なゾーニングと明快な動線が感じられる。内装にはふんだんに木材が使われており、温もりのある雰囲気が感じられた。

（委員長 片平 志朗）

森林整備等の基金創設 市道2路線を廃止し、新たに3路線を認定

審査報告

付託議案は3件

◆南陽市森林環境譲与
税金条例の設定

森林整備及びその促進を図るための基金を創設するもの。

◆南陽市道路線の廃止

廃止路線は2路線。
川樋から小岩沢の延長2.71kmの北山線と、池黒から漆山の延長887.6mの四ツ谷線を一旦廃止するもの。

◆南陽市道路線の認定

認定路線は3路線。
川樋から小岩沢の延長2.79kmの北山線、池黒から漆山の延長1.23kmの四ツ谷線、柵塚の山崎団地2号線111mを認定するもので、現地で説明を受けた。
審査の結果、全員異議なく原案のとおり可決した。



市道認定北山線

管内視察報告

5月17日

◆宮内配水池

19年に最上川浄水場を廃止し、水道の全量を置賜広域水道に切り替え、安心・安定した水の供給に向け建設に至る。管理棟は、地上1階、地下1階のコンクリート構造で機械室、送水ポンプなどで構成。置賜広域水道からの水を配水池に圧送している。配水池は二重構造



宮内配水池

で、清掃できるように配慮されている。

◆川樋（南沢）通常砂防事業

26年7月豪雨において、小規模な土石流が発生しており、不安定土砂の堆積が著しく、降雨出水による流出が懸念されることから、早急な保全が必要とされた。保全対象に、特別養護老人ホームこぶし荘やライフル射撃場、国道13号も対象範囲にあり、重要事業となっている。工期は9月末を予定とのこと。



川樋南沢砂防ダム工事現場

◆川樋（北沢）砂防堰堤

南沢と同様の目的で既に完成している。堤高12m、堰堤長70.5m、天端幅3m、堰堤形式は不透過型。



川樋北沢砂防ダム

◆(株)グローバルアグリ ネット醸造施設

醸造施設はコンパクトなスペースで、今後



(株)グローバルアグリ ネット醸造施設

(委員長 白鳥 雅巳)

ワイン最大3万本分のタンクと、醸造設備が入る予定。施設の隣には明治33年に作られた米蔵があり、涼しいので貯蔵庫にする。現在、金山地区に65アールの畑を借り、デラウェアを栽培している。就農したい人やワインに興味がある方を受け入れられるように、体制を整えているとの説明があった。

置賜広域行政
事務組合

5月30日米沢市議会で臨時議会を開催。提案された承認1件、議案5件が全会一致で承認、可決された。

主な内容は次の通り。

◆専決処分の承認

◎平成30年度置賜広域行政事務組合一般会計補正予算(第4号)

平成30年度電算共同処理事業費の業務委託料を清算及び千代田グリーンセンターの電力売払い収入及び電気料の確定に伴い、余剰利用施設等整備基金積み立て等を補正した。

◆議案

◎置賜広域行政事務組合監査委員の選任

◎組合有財産(高規格救急自動車)の入札を入札業者2社で行い、3583万8千円、落札率86.1%で落札。落札業者(山形日産自動車株式会社米沢店)

◎置賜広域行政事務組合火災予防条例の一部改正

不正競争防止法等の一部を改正する法律において、工業標準化法が産業標準化法に、日本工業規格が日本産業規格にそれぞれ改められたことの改正。

◎令和元年度置賜広域行政事務組合一般会計補正予算(第1号)

◎令和元年度置賜広域行政事務組合消防特別会計補正予算(第1号)

◎その他

会福祉法人を対象に、民設民営で公募したが、応募は無かったための方針を変更し、施設建設は公設で行い、指定管理者として令和2年度から運営する社会福祉法人を募集することとした。建設場所は、現施設の南側グラウンドを利用する。

公募概要

施設種類 養護老人ホーム(定員70名)

指定管理期間 令和2年4月1日～令和7年3月31日(5年間)

応募資格 置賜全域又は東南村山地域で、養護老人ホーム、又は介護保険施設の運営実績がある社会福祉法人。

指定管理料上限額 5年間で9億4500万円。

応募受付期間 令和元年6月下旬

指定管理者選定 令和元年7月中旬

指定管理者決議 令和元年8月中旬(8月臨時会)



やすらぎ荘

委員会報告

◆ごみ処理手数料(指定ごみ袋)の改正

指定ごみ袋の価格について、ごみ減量化の推進、ごみ処理原価とのかい離の是正、物価上昇及び消費税増税の

影響を鑑み、可燃及び不燃のごみ袋は、大袋を5円増の55円、小袋を2円増の37円に改正し、資源袋はリサイクル促進を図るため40円に据え置く。

この改正により、住民一人当たりの年間負担額は150円の増、一世帯当たりでは40円の増となり、財政効果は3100万円程度が見込まれるとのこと。

これらの改正は、8月臨時議会で手数料条例を改定し、住民周知を十分に行った後、令和2年4月より施行するとの説明があった。

◆ごみ処理手数料(収集粗大ごみ)の改正

指定ごみ袋に入らない粗大ごみの処理手数料は、条例で上限を900円以内と規定し、品目ごとの金額は規則で規定しているが、現状に

そぐわない品目があることから、現状に合わせ品目の追加及び変更を行い、県内の状況を考慮しながら、上限額を1500円に改正し、時期を令和2年4月とするとの説明があった。

◆東南置賜2市2町の尿処理施設

米沢及び南陽グリーンセンター両施設の老朽化と搬入量の減少により、分担金の軽減、老朽化対策及び効率的な処理、施設統合の検討を行ってきた。市町ごとの分担金で比較した結果、米沢浄水管理センター受入施設案が最も経済的であり、この案で2市2町の尿処理を一本化する方針が理事会で決定されたとの説明があった。(置広議員 白鳥雅巳)

森を守る「森林環境譲与税基金条例」

趣旨：平成31年4月1日に施行された「森林経営管理法」における市町村を核とした森林管理制度（システム）の費用に充てる財源として、今年度から「森林環境譲与税」として国の譲与基準により市町村に譲与されます。この財源は、国の森林環境税として、令和6年度（特別復興税の終了後）から国民一人ひとりに年額千円が課税される予定です。森林環境譲与税は国税となり、執行（使途）の確実性を公表するため基金条例を設定するものです。下記に林野庁のパンフレットを掲載します。

平成31年4月から新たな制度（森林経営管理制度）がスタートします

適切に経営管理
を実施してい
ない森林

- ① 市町村が森林所有者に、所有森林を今後どのように経営管理したいか、御意向を確認します。
- ② 市町村に委託したいと回答頂いたときは、必要に応じて、市町村と協議の上、経営管理の委託手続きを行います。

- ③ 林業経営に適した森林は、意欲と能力のある林業経営者に経営管理を再委託し、
- ④ 林業経営に適さない森林は、市町村が森林を管理します。



森林所有者



市町村

林業経営に
適した森林



意欲と能力のある
林業経営者

林業経営に
適さない森林



市町村が管理



お問い合わせ先

農林水産省林野庁森林利用課
☎ 03-6744-2126
✉ shinrin_keieikanri@maff.go.jp
または
お住まいの都道府県・市町村の林務担当部局
まで



こうなあってほしい南陽市

若い世代が安心して生活できる南陽市

宮内 高橋 寿人

南陽市だけでなく、どこの市町村でも「若者の県外流出」、「人口減少」、「少子高齢化」が課題となっています。特に若者の県外流出は人口減少や少子高齢化に拍車をかける一つの原因になっていると思います。理由は高校を卒業する生徒の多くは進学や就職で県外に流出するからです。

進学希望者は対応が難しいですが、いかに就職希望者を地元に着させるかが課題解決の鍵になっていくことだと思います。希望する職種の選択肢を広げ若い世代が安心して就労し、地元を根を据えて結婚、子育てが出来る環境を整えていく必要があると思います。そのためにも、東北中央道の開通を機に、様々な企業を誘致し職種の幅を広げるチャンスと逃がさないでもらいたいと思います。安心して結婚し子育てが出来る環境は就労先の安定が若い世代を県外に流出させないことに繋がります。

議員在職15年表彰



田中貞一 議員
初当選 平成16年3月



高橋 篤 議員
初当選 平成16年3月

産業経済委員会 副委員長感謝状



高橋 弘 議長

全国市議会議長会 表彰 感謝状 受賞

田中貞一議員、高橋篤議員が議員在職15年表彰を受賞されました。また、産業経済委員会副委員長としての功績が認められ、高橋弘議長に感謝状が送られました。

べきターゲットは「若い世代の女性」です。インターネットやSNSが急速に発展した現在、テレビCM広告以上に「口コミ」が人を呼び寄せる一つの方法になっています。南陽市の誇れる観光名所もそうですが、ここに住んで子育てをしてみたいと思える街づくりが、行政だけでなく、市民が実現しているという

強みをPRできれば素晴らしい波及効果が期待できると思います。南陽市をあげて、若者が郷土愛をもち活躍し、少しずつ活気ある南陽市になっていくことを期待します。



次代を担う子どもたち(宮内サッカースポ少1・2年生)

表紙の写真

6月8日(土)、若狭郷屋子供育成会とプラストメンバーとのランチ交流会が行われました。

初めは恥ずかしくしていた子どもたちも途中からは楽しそうに会話をしていた、貴重な体験となりました。

(編集委員 山口裕昭)

編集後記

6月18日夜半に、東日本大震災を彷彿させる震度6弱の山形県沖地震があった。幸い本市は震度4で被害などなかったが、庄内地方では屋根瓦が落下したり、液状化現象がおこるなどの被害があった。多発する自然災害で、防災意識も高くなっているとは言え「備えあれば憂いなし」の心構えは忘れまい。

(片平 志朗)

- 委員長 島津善衛門
- 副委員長 山口 裕昭
- 委員 山口 正雄
- 白鳥 雅巳
- 片平 志朗
- 田中 貞一